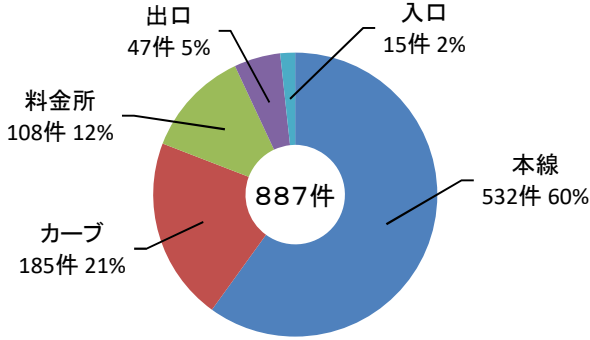


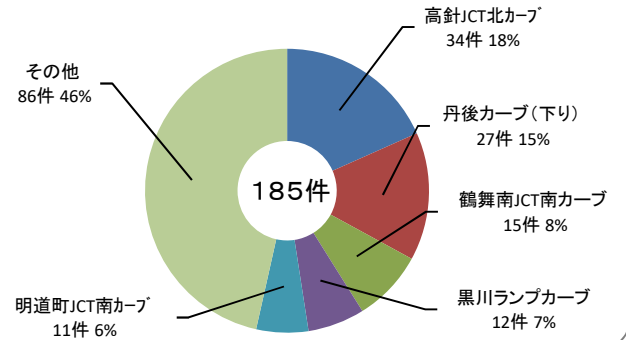
名古屋高速道路の交通事故の特徴(令和元年度)

箇所別事故件数



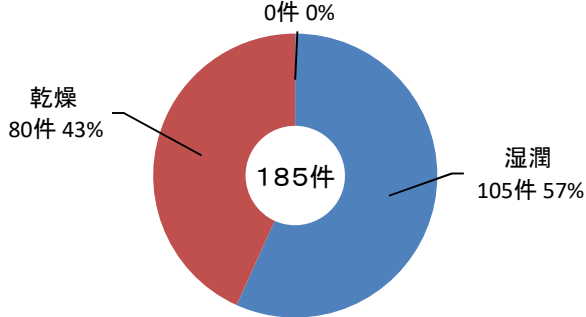
本線部以外では、都心環状線等のカーブ区間での交通事故の占める割合が21%と多く発生しています。

カーブ区間事故発生件数(箇所別)



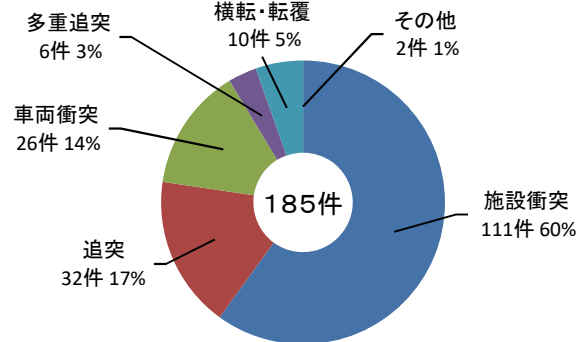
高針JCT北カーブや黒川ランプカーブでの事故が増えているほか、丹後カーブでの事故が多く発生しています。

カーブ区間事故発生件数(路面性状別)



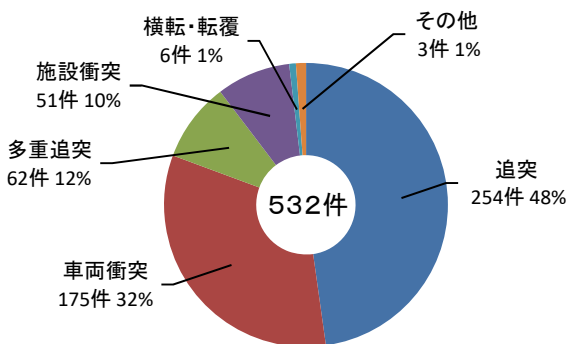
カーブ区間での事故は、雨で路面が湿潤状態の時に多く発生しています。

カーブ区間事故発生件数(事故形態別)



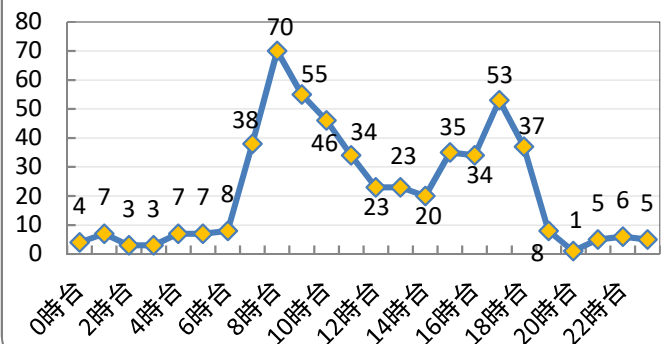
カーブ区間での事故は、施設衝突(壁への衝突)が59%と大半を占めています。

本線事故件数(事故形態別)



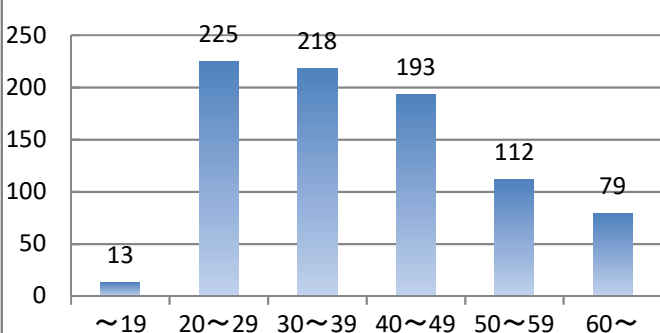
本線では、追突事故、多重追突事故の発生割合が高く、全体の60%を占めています。

本線事故件数(時間帯別)



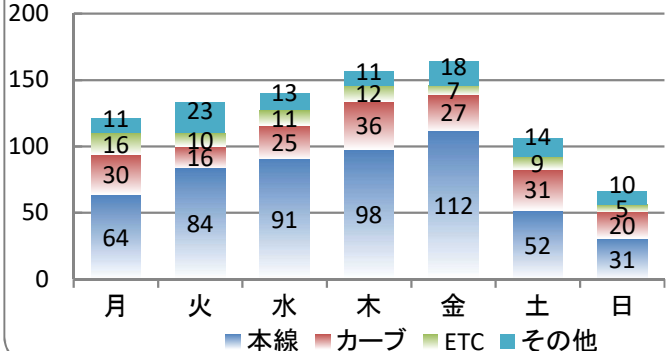
本線では、朝夕の交通量の多い時間帯に、事故も多く発生しています。

事故件数(年齢別)



お客様のうち、20歳代、30歳代の事故が多い傾向にあります。

事故件数(箇所別・曜日別)



事故は交通量が多くなる平日後半に多く、土日は少なくなる傾向にあります。